

令和4年4定 一般質問 開催状況

開催年月日 令和4年12月6日

質問者 日本共産党 真下 紀子 議員

担当部課 総合政策部政策局参事

保健福祉部感染症対策局感染症対策課

質問要旨	答弁要旨
<p>一 新型コロナウイルス感染症対策の強化について</p> <p>(一) 新型コロナウイルス感染拡大の受け止めについて</p> <p>新型コロナウイルス感染症の新規感染者が北海道は過去最高を更新し、11月は、10万人当たり全国最悪となっています。過去30日間の100万人当たり死者数は96.6人と、全国比で群を抜いて、多くの命が奪われています。この状況を知事は重く受けとめているのかまず伺います。</p> <p>(二) 対策強化宣言を行わない理由について</p> <p>医療機関や高齢者施設の集団感染で職員の欠勤者が多数となっています。道内の病床使用率は50%を超え、旭川市では29日70%を超え、昨日も75%を超えています。同日、知事は重症病床使用率が基準内という理由で、新分類のレベル2に据え置き、対策強化宣言を行いませんでした。</p> <p>命の犠牲と医療現場のひっ迫を顧みることなく、経済優先で対策強化宣言に踏み出さないのはなぜか、エビデンスをもってご説明願います。</p>	<p>【知事】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策に関し、まず道内の感染状況等についてであります。道内においては、10月下旬以降、この夏の感染拡大と同様にBA.5系統により、感染が再拡大するなか、11月に入り、日々の新規感染者数は過去最多を更新し、10万人当たりの新規感染者数も全国最多が続くなど、感染レベルは高い状況にあるものと認識をしております。</p> <p>また、新規感染者数に対する死亡者の割合には大きな変化が見られない中、新規感染者数の増加に伴い、お亡くなりになる方は増加をしており、同様に高齢者施設や医療機関等で集団感染がひん発するなどして、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方等にも感染が広がっていることから、道民の皆様、本道の厳しい実情をお伝えしつつ、基本的な感染防止対策の再徹底やワクチンの速やかな接種の検討とともに、とりわけ、高齢者の方と接する場合には検査をしていただくことなどが、道民の皆様の命や健康を守る上で、極めて重要と考えております。</p> <p>【知事】</p> <p>レベル判断などについてであります。先月11日、国の分科会において、「オミクロン株対応の新レベル分類」が示され、この考え方に沿って、25日には、基本的対処方針が変更されたことから、道としては、医療のひっ迫度に着目する観点から運用の考え方をとりまとめ、併せて全道をレベル2とすることについて、有識者の方々や市町村の皆様にご意見を伺った上で、29日の対策本部において決定したところであります。</p> <p>国の新レベル分類の枠組みにおいては、「医療ひっ迫防止対策強化宣言」は、レベル3で行うものとされており、引き続き、指標の推移を注視しながら、対応を検討してまいります。</p>